

## 林茂氏旧蔵図書について (3) ——附,「菊川忠雄史料」仮目録——

西 川 誠\*

List of Prof. Shigeru HAYASHI's Collection (3)

Makoto NISHIKAWA

### 要 旨

平成11年に本学図書館に寄贈された,元東京大学社会科学研究所教授林茂先生の旧蔵図書  
中の「菊川忠雄史料」について,概要を記し,目録を掲載して利用の便を図る。

キーワード: 林茂旧蔵図書, 日本近代史, 菊川忠雄, 労働運動

### はじめに

平成11年に,元東京大学社会科学研究所教授林茂先生の旧蔵図書が本学図書館に寄贈され  
た(以下「林茂旧蔵図書」と称す)。その概要および一部史料の目録については,既に『川村  
学園女子大学研究紀要』第12巻第1号(平成12年3月15日)において,梅村恵子氏と筆者  
が紹介している(梅村「林茂氏旧蔵図書について(1)」,西川「林茂氏旧蔵図書について(2)」)。  
本稿は,その紹介に引き続き,「林茂旧蔵図書」中の「菊川忠雄史料」について,概要を記し,  
目録を掲載して利用の便を図ろうとするものである。

### 1 菊川忠雄の略歴

まず菊川忠雄の経歴を、日本労働総同盟菊川忠雄追悼出版委員会編刊『菊川忠雄 その思想

---

\*助教授 日本史学

と実践』（昭和31年）に基づき、述べよう。

菊川は、明治34年愛媛県に生まれた。大正7年愛媛県立今治中学校を卒業、進学を志したが、父に反対された。そのため自力で進学すべく大阪に出て就職する。一時帰郷を経て神戸の鈴木商店に就職、後援者を得て、大正9年第一高等学校に入学したが、苦学生であった。

入学後社会主義運動に強い関心を持ち、「一高社会思想研究会」を創立し、中心となって活動した。

大正12年東京帝国大学経済学部に入學、15年卒業した。この間学業と社会主義運動とを並行させる。まず「新人会」の再建に着手した。「新人会」は大正7年12月に東京帝国大学法学部の学生によって結成された団体で、社会の「改造」を目指していた。菊川らが再建した新人会はマルクス主義の影響が強く、学内改革運動に励むとともに、学外の無産階級解放運動とも接触した。大正14年秋、麻生久の奨めもあり、日本労働総同盟本部に入り、労働運動の実践に踏み出した。なお日本労働総同盟は友愛会の後進であり、大正10年に成立した労働組合の全国中央組織である。この年5月に大分裂し、左派が日本労働組合評議会を形成していた。

大正15年3月合法的無産政党労働農民党が結成されるが、「共産分子の排除」問題をめぐって10月には分裂し、12月に右派の社会民衆党、中間派の日本労農党、左派の労働農民党が鼎立する状態となった。日本労働総同盟は労働農民党より脱退、社会民主主義を基調とすることとし社会民衆党を結党した。こうした動きの中で日本労働総同盟の一部組合（鉱夫総連合、関東合同、関東紡織など）が離脱、日本農民組合の大半などと日本労農党を結成した（書記長、三輪寿壮）。日本労農党系の組合は日本労働組合同盟を組織した。菊川は、麻生久らとともに日本労働組合同盟本部に入った。要するに、菊川は合法的無産政党中間派に属し、労働運動を継続したのであった。

菊川は、昭和2年には日本労働組合同盟の機関誌「工場と鉱山」の編集責任者となり、昭和3年4月には中央執行委員に選出される。昭和5年日本労働組合同盟は労働組合全国同盟などと合同し、全国労働組合同盟を結成、菊川はその中央常任執行委員となり、機関誌「全国労働新聞」の責任者となった。

日本労農党は、対支非干渉運動・治安維持法改悪反対運動を行い、また無産政党の合同を目指し、他の小政党と合同して、日本大衆党、全国大衆党、全国労農大衆党と拡大、昭和7年7月には社会民衆党と合同し、社会大衆党を結成した。委員長に安部磯雄、書記長に麻生久が就任した。無産政党の大合同が実現したのである。その結果全国労働組合同盟と日本労働総同盟との対立関係も漸次解消に向かい、両者ともに参加する日本労働組合会議が結成された。菊川は昭和7年5月以後全国労働組合同盟の主事を務める一方、日本労働組合会議の執行委員と

なった。また組合代表として社会大衆党の中央執行委員に選出され、社会大衆党解党までその地位にあった。

昭和9年日本労働組合会議から第十八回国際労働会議（ILO）への代表の一人に任命され欧行、途中5月に現スリランカのコロomboで開かれた第一回アジア労働会議に代表して出席、6月に国際労働会議に出席した。

昭和11年1月全国労働組合同盟と総同盟が合同し、全日本労働総同盟が発足、菊川は本部総主事に選出された。会長が総同盟系の松岡駒吉、副会長が全国労働系の河野密と総同盟系の西尾末広であり、菊川はそれにつぐ地位であった。無産政党合同後4年たつての合同であった。

このように菊川は労働運動中心に活動していたが、昭和12年に東京市会選挙に立候補し落選している。

戦時体制が進展する中、労働者の戦時体制への動員を図る産業報国運動が展開されるようになり、その対応をめぐって昭和14年7月全日本労働総同盟は総同盟系（のち日本労働総同盟）と全国労働系（のち産報倶楽部）に分裂、菊川は総主事の立場から当初いずれにも参加を留保した。他方日本労働組合会議が改組していた日本労働国策協会に加わる。昭和15年7月総同盟は自発的解散を決議、他の労働組合も相次いで解散した。労働運動は近衛文麿の新体制の下での大日本産業報国会という官製の組織に統合されることとなる。昭和15年7月社会大衆党も解党し、主流派は近衛の新体制運動に参加していった。

昭和15年11月大日本産業報国会が発足し、翌年3月菊川は本部の文化部副部長に就任したが、内務省警保局より赤色分子として退職を強要され、3ヶ月で辞任した。その後は難を避けるために大連に赴き、18年からは知人の会社の重役となり仙台に居住した。

敗戦後の昭和21年7月に結成された日本鉱山労働組合の本部主事に選出される。昭和22年総同盟中央執行委員、法律部長に選任される。24年から始まった総同盟解体問題に対抗し、総主事選に破れる。25年総同盟主流派と産別会議の日本共産党批判派の民同派がGHQの支持の下で日本労働組合総評議会（総評）を結成した。しかし菊川ら右派は、分裂後も独自に総同盟再建に尽力、26年に総主事に再選出、27年には顧問となった。

戦後は政治運動に軸足を移し、昭和22年4月衆議院選挙に日本社会党から立候補、東京4区より当選する。23年総選挙には落選、27年28年と右派社会党から立候補して連続当選、29年9月演説の帰途洞爺丸事件に遭い、死亡した。

以上のように、菊川は戦前は労働運動に尽力し、中間派に分類される。戦後は日本社会党に参加した。政治運動に専心する希望を持っていたが、昭和20年代半ばの総同盟の分裂問題には左派に対抗し、総評結成後は総同盟の再建に努力した。社会党でも分裂後は、右派に所属し

た。戦後の社会党・労働運動では右派に分類される人物であった。

## 2 史料の伝来

伝来については、前掲の西川「林茂氏旧蔵図書について (2)」でも触れたが、重複を厭わずに述べておこう。

これらの史料には、ほとんどに「菊川記念館」のラベルが貼付されている。したがって菊川忠雄の関係史料で間違いないであろう。また「菊川忠雄，三輪寿壮氏蔵書目録」（「林茂氏旧蔵図書について (2)」，126 頁参照）とも一部重複し，国立国会図書館憲政資料室所蔵の「菊川忠雄文書」（マイクロフィルム）とも重複する。したがって，菊川の史料がいずれかに存在し，その段階で「菊川忠雄，三輪寿壮氏蔵書目録」と憲政資料室のマイクロフィルムが作成されたのであろう。

ではなぜ林茂教授の旧蔵書中にこの史料が存在したのであろうか。林教授は，昭和 37 年から刊行が開始された労働運動史料委員会編『日本労働運動史料』全 11 巻（労働運動史料刊行委員会）に参加し，法制班を担当していた。おそらくはその過程で，この史料を収集したのではないと思われる。

林教授の死後，蔵書は君代夫人が引き継いだ，平成 11 年に死去した。その後甥に当たる室賀脩氏が相続した。室賀氏は，菊川記念館が存在するのであれば，史料について相談しようとしたが，発見できず，最終的には日本労働会館理事長・元同盟会長天池清次氏に連絡し，相談した。菊川の経歴からすれば妥当な判断であろう。天池氏は，調査したが，菊川の夫人君子は既に死去（民社党支部葬），継嗣はなく遺族は発見できない，菊川記念館も不明，大学という公共機関に他の蔵書とともに寄贈するというのであればそれで良いのではないかと判断であった。そこで室賀氏は，他の蔵書とともに本大学に寄贈することとしたのである。

こうして受け入れた史料は，「林茂氏旧蔵図書について (2)」で整理したのであるが，その後林教授邸を処分する際に，あらたに段ボール箱が 2 箱発見され，本学に寄贈された。そこで新寄贈分と「林茂氏旧蔵図書について (2)」に記載分（p126）をあわせて整理し，目録化してここに掲載する。

## 3 整理の方針と概要

先に述べたように，ほとんどの史料には「菊川記念館」のラベルが貼付されているが，整理

番号などの書き込みは一切ない。また番号を書いた紙片が挟まれているものが多いが、紛失したりはずれたりしているものも多く、また「菊川忠雄、三輪寿壮氏蔵書目録」とも一致しない。林教授らの整理によるものと思われるが、復元は不可能である。

史料はほとんどが印刷史料で、小冊子が多数を占める。そこで「林茂氏旧蔵図書について (1)・(2)」と同じ方法で整理することとし、原則として発行年による分類を行うこととした。ただし、林教授らの整理段階で、袋詰めとされている史料があった。これらは小冊子でない印刷物が多く、菊川の活動による分類となっており、そのまともは有用であると思われる。そこで、袋詰め分はその分類を生かすこととした。

概要について、簡単に述べておく。

菊川の経歴は前述したが、本史料中には戦後のものは含まれていない。

菊川の経歴から、活動に関連したリーフレット類、記録類がもちろん多い。大正13年の「日本労働総同盟 第十三年大会 議事録」から始まっている。大正15年からの「正義の光」は、紡績工場の女工を対象として労働運動の重要性などを訴える小冊子であるが、菊川が所属する日本労働組合同盟傘下に関東紡織労働組合が存在したためであろう。女性の労働の点から興味深い史料である。

菊川は昭和9年国際労働会議に派遣されたが、昭和8年と9年、さらに袋詰め史料に關係史料がある。この会議では特に日本のソーシャルダンピングが問題となった。斎藤実内閣下において、日本は不況から脱出しつつあった。特に輸出産業が牽引した。長びく不況のために賃金が低下、輸出品が相対的に廉価になったためであった。欧米諸国はこれを賃金の不当引き下げによる国際競争力の増強ととらえ、ソーシャルダンピングとして批判した。日本の労働者には好況を享受しつつ批判に如何に対応するかが問題となる。「意見書〔第18回国際労働総会について〕」はソーシャルダンピングの批判のためにも、最低賃金制と労働時間制の導入を訴えたものである。

昭和11年には退職金関係が多いが、昭和10年に内務省社会局が退職積立金法案要綱を発表し賛否が相次いだためである。スクラップブックも存在する。

袋詰め史料の【軍事援護関係資料】は応召者の待遇に關係する史料である。【戦時下賃金関係】にも同様の物がある。菊川は18年以後は労働関係の仕事には就いていないようなのだが、かなりの史料が集められている。

【総同盟脱退問題に関する宣伝ビラ一束】は、大正15年の無産政党と総同盟の分裂に關係する史料群である。

西 川 誠

### おわりにかえて

菊川忠雄史料は、刊行物が多く、戦前期の労働運動・無産政党運動の活動の実態を細部にわたって浮かび上がらせるものではない。しかし、本稿では内容にはほとんど触れることができなかったが、菊川が関与した、中間派日本労農党・日本労働組合同盟の貴重な史料であることは疑いない。国立国会図書館憲政資料室にマイクロが存在するとはいえ、原史料が偶然残されて、本学に寄贈されたことは幸いであった。研究者に利用されることを期待したい。

菊川忠雄史料 仮目録

- 凡例 (1) 書名／編著者／出版社／発行年 の順で記載した。〔 〕内は編者の補記である。  
(2) 雑誌などの定期刊行物には※を最初に付けた。巻号には洋数字を使い、全て〔 〕を付けた。  
(3) 閲覧を希望する場合には、必ず図書館に事前に問い合わせていただきたい。

【大正 10 年】

〔無産社リーフレット 4 点〕／／無産社／大正 10 年 (注)「労働婦人の解放」,「金持ちと貧乏人」,「知識階級に与ふ」2 点, 初版年による

※社会主義研究 〔第 4 巻〕／／平民大学出版部／大正 10 年 9 月 1 日 (注) 表紙欠, 号数不明, 内容「社会主義の進化」

【大正 11 年】

労働露西亜の農業制度 水曜会パンフレット No. 3／山川均／社会主義研究社／大正 11 年 (2 版, 初版大正 10 年)

二人の『革命家』と二人の労働者 水曜会パンフレット No. 12／／社会主義研究社／大正 11 年

一九二一年のロシア 対露非干渉同志会パンフレット No. 1／荒畑寒村訳／対露非干渉同志会／大正 11 年

社会主義大意 無産社パンフレット (1)／堺利彦／無産社／大正 11 年

社会主義学説の大要 建設者パンフレット〔I〕／堺利彦／建設者同盟／大正 11 年 (4 版, 初版同年)

ロシア革命十一月七日 インタナショナル・パンフレット 1／堺利彦／インタナショナル社／大正 11 年

日本社会主義運動史 インタナショナル・パンフレット 2／荒畑寒村編／インタナショナル社／大正 11 年

団結せよ組織せよ インタナショナル・リーフレット 3／／インタナショナル社／大正 11 年

〔無産社リーフレット 4 点〕／／無産社／大正 11 年 (注)「小学教員に呈す」,「犬芝居と猿芝居」,「文学青年に与ふ」,「宗教病者に与ふ」, 初版年による

【大正 12 年】

なまけ者と社会主義者 水曜会パンフレット No. 1／堺利彦／水曜会出版部／大正 12 年 (6 版, 初版大正 10 年)

メーデー 水曜会パンフレット No. 11／山川菊栄／水曜会出版部／大正 12 年 (4 版, 初版大正 11 年)

匈牙利の労働革命 水曜会パンフレット No. 13／山口小静／水曜会出版部／大正 12 年

無産婦人の解放 インタナショナル・リーフレット No. 4／／インタナショナル社／大正 12 年

労働者と労働組合 インタナショナル・リーフレット No. 5／／インタナショナル社／大正 12 年

失業保険及失業救済ニ関スル各国制度概要／／社会局第二部／大正 12 年

【大正 13 年】

再び日本を見舞ひて／鈴江言一／／民国 13 年 (注) 私家版

日本労働総同盟 第十三年大会 議事録／／日本労働総同盟出版部／大正 13 年

仕上工並に旋盤工の賃金調査報告／北沢新次郎／大原社会問題研究所／大正 13 年

黎明期の青年に訴ふ 日本フェビアン協会リーフレット／／日本フェビアン協会／大正 13 年

機械労働組合聯合会脱退に就き機械技工組合の態度を声明し併せて宣言す〔ビラ〕／／機械技工組合／大正 13 年

※労働 第 13 巻第 2 号〔3, 4 頁のみ〕／／／大正 13 年 2 月 1 日

※政治研究 [改題第1号] / / 政治研究会 / 大正13年9月1日

【大正14年】

大正十四年度臨時大会建議案 / / / 大正14年 (注) 謄写版, 議案には「無産政党綱領大綱案」などがある, 「可決」「否決」等の書き込みあり

※マルクス主義 [第16号] / / マルクス協会 / 大正14年8月1日

※社会思想 [第4巻第4号] / / 社会思想社 / 大正14年4月1日

※政治研究 [第3巻第2号] / / 政治研究会 / 大正14年2月1日

【大正15年・昭和元年】

健康保険の話 / / 産業福利協会 / 大正15年 (5版, 初版大正14年)

工場法規 / 社会局 / 産業福利協会 / 大正15年

大正拾五年度 全国大会報告書 / / 日本労働総同盟本部 / 大正15年 (注) 謄写版

転換期の日本社会運動 / 赤松克麿 / 厚生閣 / 大正15年

メーデー / 日本労働総同盟大阪聯合会 / 日本労働総同盟大阪聯合会 / 大正15年 (注) 2冊

Industrial Conditions And Labour Legislation In Japan / Iwao F. Ayusawa / International Labour Office / 1926

労働組合の話 関東同盟パンフレットNo.1 / / 日本労働総同盟関東労働同盟会出版部 / 大正15年 (6版, 初版大正15年)

ソビエツト聯邦金属労働組合の歴史と組織 労働組合パンフレット第二冊 / / 産業労働調査所 / 大正15年

※マルクス主義 [第30号] / / マルクス協会 / 大正15年10月1日

※マルクス主義 [第31号] / / マルクス協会 / 大正15年11月1日

※社会思想 [第5巻第7号] / / 社会思想社 / 大正15年7月1日

※社会思想 [第5巻第8号] / / 社会思想社 / 大正15年8月1日

※社会思想 [第5巻第11号] / / 社会思想社 / 大正15年11月1日

※正義の光 [1, 2, 4~9] / / 関東紡織労働組合 / 大正15年4月20日~12月28日

※総同盟通信 [第13号] / / 日本労働総同盟本部 / 大正15年11月6日 (注) 謄写版, 週刊

【昭和2年】

第三回全国大会中央委員会並に議案 / / 日本労働組合評議会 / 昭和2年 (注) 書き込みあり

メーデーの意義と歴史 / 日本労働組合評議会教育出版部編 / 労働問題研究所 / 昭和2年

※組合同盟時報 [第2号] / / 日本労働組合同盟出版部 / 昭和2年3月1日 (注) 謄写版

※組合同盟時報 [第3号] / / 日本労働組合同盟出版部 / 昭和2年3月18日 (注) 謄写版

※正義の光 [11~13, 15, 16, 18~20] / / 関東紡織労働組合 / 昭和2年1月28日~12月13日

※社会思想 [第6巻第4号] / / 社会思想社 / 昭和2年4月1日

※社会思想 [第6巻第8号] / / 社会思想社 / 昭和2年8月1日

※無産者新聞 / / 無産者新聞社 / 昭和2年6月4日

【昭和3年】

既成政党の表裏と無産政党の主張 / / 日本労農党 / 昭和3年

国際労働条約案及び勧告の要領 / / 国際労働局東京支局 / 昭和3年

千九百十九年第一回国際労働総会ニ於テ採択セラレタル条約案及勧告 / / 国際労働局東京支局 / 昭和3年 (注) 2冊あり

昭和三年度 全国大会報告書 / / 日本労働総同盟本部 / 昭和3年 (注) 謄写版

※正義の光 [21~30] / / 関東紡織労働組合 / 昭和3年1月23日~12月30日



林茂氏旧蔵図書について (3)

※社会思想 [第7巻第2号] / / 社会思想社/昭和3年2月1日

【昭和4年】

解放運動の指導理論 民衆政治講座/赤松克麿/クララ社/昭和4年

労働者・農民の代議士 山本宣治は議会に於て如何に闘争したか? / 政治的自由獲得労農同盟編/希望閣/  
昭和4年

昭和四年度全国大会提出議案 / / 日本労働組合同盟/昭和4年

昭和四年度全国大会報告書 / / 日本労働組合同盟本部/昭和4年

日本大衆年鑑 / / 日本大衆党出版部/昭和4年

失業問題と階級意識/林要/労働問題研究所/昭和4年 (15版, 初版大正11年)

※社会思想 [第8巻第8号] / / 社会思想社/昭和4年8月1日

※早稲田大学雄弁会々報 [第1号] / / [早稲田大学雄弁会]/昭和4年4月

【昭和5年】

昭和五年度全国大会報告書/日本労働組合総聯合本部/日本労働組合総聯合本部/昭和5年

第五回年次大会報告書 / / 社会民衆党横浜支部/昭和5年

我国における団体交渉及団体協約/財団法人協調会労働課/財団法人協調会労働課/昭和5年

日本無産政党現勢(昭和五年現在)/石井忠編/白揚社/昭和5年

無産社図書目録 / / 無産社/昭和5年

関西事務局規定(一九三〇.九.二八) / / 全国労働組合同盟再事務局/昭和5年 (注) 謄写版

社会民衆党東京府支部聯合会昭和五年度大会報告書 / / [社会民衆党東京府支部聯合会]/昭和5年

※早稲田学報 [第429号] / / 早稲田大学校友会/昭和5年11月10日 (注) 表紙欠

※労働大衆 号外 正義の光 [34, 36, 37] / / 日本労働組合同盟/昭和5年3月25日, 5月25日,  
8月1日 (注) 34号は2冊あり

【昭和6年】

大衆よ街頭へ 1931 / 森登守/全国労働組合同盟九州聯合会/昭和6年

最近学生左翼運動秘録/能勢岩吉/万里閣/昭和6年 (5版, 初版同年)

第二回大会提出議案/全国労働組合同盟/全国労働組合同盟/昭和6年

全国労働第二回大会報告/全国労働組合同盟/全国労働組合同盟/昭和6年

昭和六年度大会議案並報告書/全国労働組合同盟大阪金属労働組合/全国労働組合同盟大阪金属労働組合/  
昭和6年

昭和六年度大会報告並議案/全国労働組合同盟東京地方聯合会/全国労働組合同盟東京地方聯合会/昭和  
6年 (注) 謄写版

第六回年次大会議案/横浜市従業員組合/横浜市従業員組合/昭和6年

昭和六年度大会議案/全国労農大衆党/全国労農大衆党/昭和6年

対支出兵反対斗争方針書 / / 全国労農大衆党/昭和6年10月30日 (注) 謄写版

日本農村問題の基礎 無産社パンフレット (20) / 角田藤三郎/無産社/昭和6年

最近に於ける労働争議の事例(其二) 調査報告号外 (8) / 社団法人日本工業倶楽部調査課/社団法人日  
本工業倶楽部調査課/昭和6年

最近ニ於ケル労働運動ノ概要/社会局労働部/社会局労働部/昭和6年

労働者災害扶助法令及労働者災害扶助責任保険法令説明/社会局労働部/社会局労働部/昭和6年

京大学消ニユース 総会特輯第二号 / / 京大学生消費組合/昭和6年6月10日

日出東京支部ニュース No.30 / / 全協日本出版労働組合東京支部/昭和6年7月1日 (注) 謄写版

※労働新聞 第26, 30号 / / 日本労働組合同盟 / 昭和6年6月25日, 8月20日

【昭和7年】

全国労働組合同盟第三回大会報告書並ニ議案 / 全国労働組合同盟 / 全国労働組合同盟 / 昭和7年

昭和七年度大会大会報告並ニ議案 / 全国労働組合同盟東京乗合自動車現業員会 / 全国労働組合同盟東京乗合自動車現業員会 / 昭和7年 (注) 謄写版

関東合同労働組本部特別ニュース / / / 昭和7年4月27日

全協の旗の下に 予告篇 / 「全協の旗の下に」編集部 / 日本労働組合同盟出版部 / 昭和7年 (注) 表紙のみ謄写版。2点ビラ折り込みあり。「労働者農民の大衆的推薦に対する挨拶」(市ヶ谷刑務所にて・佐野学・杉浦啓一・唐沢清八), 「二月十九日国際失業反対デーを日本共産党の赤旗の下に大衆的政治的デモで斗へ!」

再建後の左翼労働組合運動 増補改訂版 / 富労波巖太 / 労農書房 / 昭和7年

無産者法律必携 / 同人社編纂部編 / 同人社 / 昭和7年

我国に於ける労働者教育の趨勢 / 協調会 / 協調会 / 昭和7年 (注) 2冊あり

メーデー 労働者教育シリーズ (2) / 全国労働組合同盟編 / 全国労働組合同盟 / 昭和7年

失業保険及各種失業者扶助 失業問題調査資料第三十七号 / 社会局社会部 / 社会局社会部 / 昭和7年

思想調査資料 第十四輯 / 文部省学生部 / 文部省学生部 / 昭和7年

党財政の基礎確立に就いて全党員及革命的労働者農民諸君に檄す [ビラ] / 日本共産党中央委員会 / 日本共産党中央委員会 / 昭和7年3月4日

〔麻生久選挙ビラ〕 / / / 昭和7年

〔松谷与二郎選挙ビラ〕 / / / 昭和7年

※産業労働時報 [第31号] / / 産業労働調査所 / 昭和7年2月20日

※全国労農大衆新聞 号外, 第41号 / / 全国労農大衆党 / 昭和7年1月13日, 4月15日

【昭和8年】

給料生活者問題 / 社会立法協会 / 社会立法協会 / 昭和8年

〔挟込資料〕 1 女子の給料生活者問題 社会政〔ママ〕政策時報第百五十七号別冊 / 井上貞蔵 / / 昭和8年

2 第二回社会政策会議出席通知者氏名

3 給料生活者の退職手当制度に関する意見 / 北岡寿逸

4 北岡寿逸報告「給料生活者問題概況」補足 大正九年ト昭和五年トノ職員数増加増加増加推定〔謄写版〕

5 第二回社会政策会議〔プログラムなど〕

6 第一部会座席表〔謄写版〕

川口鋳物業実地調査 / 財団法人協調会 / 財団法人協調会 / 昭和8年

昭和八年度大会報告書並議案 / 全国労働組合同盟東京聯合会 / 全国労働組合同盟東京聯合会 / 昭和8年 (注) 謄写版

全国労働組合同盟第四回大会報告書並ニ議案 / 全国労働組合同盟 / 全国労働組合同盟 / 昭和8年

金の武装と日本の将来 / 社会大衆党事業部 / 社会大衆党事業部 / 昭和8年

社会大衆党昭和八年度大会議案 / 社会大衆党書記局 / 社会大衆党書記局 / 昭和8年

労働時間短縮ニ関スル質問書及其ノ説明 / 社会局 / 社会局 / 昭和8年

〔挟込資料〕 1 保護職工ノ深夜業許可業態別調, 保護職工ノ深夜業許可府県別調〔謄写版〕

2 労働時間短縮問題要旨 / 社会局労働部〔謄写版〕

林茂氏旧蔵図書について (3)

- 労働組合及労働争議統計／協調会／協調会／昭和8年  
農村更正計画の樹て方 農村計画叢書第三輯／協調会農村課編／財団法人協調会／昭和8年  
実地調査の結果から見た農村生活 農村計画叢書第四輯／協調会農村課編／財団法人協調会／昭和8年  
労働時間と失業 産業経済資料第二十一輯／全国産業団体聯合会事務局／全国産業団体聯合会事務局／昭和8年  
工場鉱山の福利施設調査 第一教育修養施設／社会局労働部／社会局労働部／昭和8年  
昭和七年労働統計概説（第十一回）／日本銀行調査局／日本銀行調査局／昭和8年  
東京市政現下の諸問題 一大東京市会最初の総選挙の意義— 都市問題パンフレットNo.19／東京市政調査会／東京市政調査会／昭和8年  
阿久津事件第一審判決／社会大衆党栃木県聯合会／社会大衆党栃木県聯合会／昭和8年（注）謄写版  
失業状況推定月報概要 自昭和四年九月至八年八月／社会局社会部／社会局社会部／昭和8年  
EMPLOYMENT OF WOMEN ON UNDERGROUND WORK IN MINES OF ALL KINDS / / INTERNATIONAL LABOUR OFFICE / 1933（注）「EIGHTEENTH SESSION GENOVA — 1934」と注記あり  
※労働時報 [合綴, 第10巻第1～12号] / / 社会局労働部／昭和8年1月28日～12月28日  
※労働時報 [合綴, 第10巻第1, 3, 4号] / / 社会局労働部／昭和8年1月28日, 3月28日, 4月28日  
※労働時報 [第10巻第2号] / / 社会局労働部／昭和8年2月28日  
【昭和9年】  
昭和八年農村問題概観 農村問題資料第百二十六輯／協調会農村課／協調会農村課／昭和9年  
国際労働局局長年報1934／国際労働局東京支局／国際労働局東京支局／昭和9年  
昭和九年度に対する非常時当面闘争方針要綱に関する件／全国労働本部提出／全国労働本部〔?〕／昭和9年  
日本労働総同盟関東同盟規約（昭和九年十一月改正）／ / 日本労働総同盟関東同盟〔?〕／昭和9年  
昭和九年度大会議案並報告書／全国労働組合同盟大阪聯合会／全国労働組合同盟大阪聯合会／昭和9年（注）挟み込み, 菊川宛送り状  
亜細亜労働会議結成経過／日本海員組合・日本労働組合同盟／日本海員組合／昭和9年  
私の見たる東電労働運動概略史／矢ヶ崎静馬／矢ヶ崎静馬〔私家版〕／昭和9年  
第10回全国委員会本部報告並議案／社会大衆党／社会大衆党／昭和9年（注）謄写版  
SOME FACTS WITH REGARD TO INDUSTRIAL AND SOCIAL CONDITIONS OF JAPAN / S.YOSHISAKA J.KITAOKA / 1934?（注）Japanese Government Delegates to the 18th Session of the International Labour Conference. 使用資料のうち最新は1933年  
失業保険及各種失業者扶助方法に関する質問書及其の説明／社会局／社会局／昭和9年  
我国商品の海外進出と我国労働条件に関する海外諸新聞の論評／社会局／社会局／昭和9年  
モーレット氏報告書／国際労働局東京支局／国際労働局東京支局／昭和9年  
我国輸出貿易に対する各国の圧迫と我国労働条件の改善に就て／社会立法協会／社会立法協会／昭和9年（注）2点あり  
工場鉱山の福利施設調査 第二経済施設／社会局労働部／社会局労働部／昭和9年  
鉱山に於ける婦人の地下労働／社会局労働部／社会局労働部／昭和9年  
痼疾, 老齢及寡婦孤児保険に於ける移住労働者の取得の中途に在る権利及既得の権利の維持 社会保険調

- 査資料第三十七号／社会局／社会局／昭和9年  
国際労働機関関係法規／社会局／社会局／昭和9年  
農家労働調査報告 井泉村農家経済調査（前編） 自昭和七年四月至昭和八年三月／財団法人協調会／財団法人協調会／昭和9年  
第十八回総会ニ於ケル議事規則改正問題／労務課／労務課／昭和9年（注）謄写版  
世界各国失業者数 自一九二〇至一九三三／／／昭和9年（注）謄写版  
全国労働第五回大会報告・議案／全国労働組合同盟／全国労働組合同盟／昭和9年（注）第六回大会の版下に使用のため朱訂あり  
夜間ニ於ケル婦人使用ニ関スル条約一部改正ニ対スル各国政府ノ意見／社会局労務課／社会局労務課／昭和9年（注）謄写版  
財閥の軍需品工業 日本経済研究所調査報告／日本経済研究所／日本経済研究所／昭和9年（注）謄写版  
青年団、青訓所及在郷軍人会に関する調査 日本経済研究所調査報告／日本経済研究所／日本経済研究所／昭和9年（注）謄写版  
意見書〔第18回国際労働総会について〕／／日本労働組合同盟九州地方協議会第五回委員会／昭和9年4月15日（注）謄写版、5点あり  
日本労働組合同盟第四回執行委員会議題書記局案／／／昭和9年頃（注）謄写版  
【昭和10年】  
電球硝子産業第二回協力委員会報告書／電球硝子産業協力委員会／電球硝子産業協力委員会／昭和10年（注）謄写版  
国家資本産業に於ける最近の労働者情勢 其の一 日本経済研究所調査報告書〔第一号〕／日本経済研究所／日本経済研究所／昭和10年（注）謄写版  
労働者最低年齢法に対する批判／日本産業衛生協会／日本産業衛生協会／昭和10年  
労働組合法に関する資料 社会政策研究会参考資料（一）／国策研究同志会社会政策研究会／国策研究同志会社会政策研究会／昭和10年（注）謄写版  
退職積立金法案研究会記録／木曜会倶楽部／木曜会倶楽部／昭和10年  
本邦労働者及農民事情／大原社会問題研究所／栗田書店／昭和10年  
臨時工問題の研究／労働事情調査所／労働事情調査所／昭和10年  
※帝国大学新聞 創刊十五周年記念号〔第602号〕／／帝国大学新聞社／昭和10年12月4日  
※労働運動 日本労働組合同盟聯合機関誌〔ファイル合綴、第11巻第10号、第11巻第12号、第14巻第1号～第14巻第12号、第15巻第1号、第15巻第2号〕／／労働運動社／昭和10年10月15日、12月15日、昭和13年1月23日～昭和14年2月15日  
【昭和11年】  
国際労働局局長年報一九三六年／国際労働局東京支局／国際労働局東京支局／昭和11年  
全日本労働総同盟規約（昭和十一年一月十五日）／／〔全日本労働総同盟〕／昭和11年  
退職積立金及退職手当法令／社会局／財団法人協調会産業福利部／昭和11年  
退職積立金及退職手当法令集／労働事情調査所／労働事情調査所／昭和11年（注）労働週報466号附録  
退職積立金法案の意義とその内容／赤松小寅／労働事情調査所／昭和11年  
第拾四回大会報告書／全日本労働総同盟関東同盟／全日本労働総同盟関東同盟／昭和11年  
第五回年度大会報告並議案／日本労働組合同盟／日本労働組合同盟／昭和11年  
経済倶楽部講演 133／／東洋経済出版部／昭和11年

林茂氏旧蔵図書について (3)

- 電力国営 社会大衆党国策叢書第一輯／社会大衆党本部／社会大衆党出版部／昭和 11 年  
税制改革 社会大衆党国策叢書第四輯／社会大衆党本部／社会大衆党出版部／昭和 11 年  
退職積立金及び退職手当法問答／社会大衆党労働委員会編／社会大衆党出版部／昭和 11 年  
昭和十一年度全国大会議案／社会大衆党本部／社会大衆党本部／昭和 11 年  
実際問題を中心としたる借家法借地法解説／中村高一／消費組合研究会／昭和 11 年  
※労働時報 [第 13 巻第 1 号] ／ ／社会局労働部／昭和 11 年 1 月 28 日  
※労働時報 [第 13 巻第 2 号] ／ ／社会局労働部／昭和 11 年 2 月 28 日 (注) 2 冊あり  
※労働時報 [臨時増刊 昭和 11 年労働運動概況] ／ ／社会局労働部／昭和 11 年 7 月 28 日  
※明日 [第 7 巻第 11 号] ／ ／明日社／昭和 11 年 11 月 1 日  
※産業と教育 [第 3 巻第 5 号] ／ ／文部省内全国実業教育界／昭和 11 年 5 月 10 日  
※雑誌労働 [第 2 巻第 1 号] ／ ／労働雑誌社／昭和 11 年 1 月 1 日  
【昭和 12 年】  
局長年報一九三七年／国際労働局東京支局／国際労働局東京支局／昭和 12 年  
沼津支部 労働運動十年史／田代新一／全日本労働総同盟関東紡織労働組合沼津支部／昭和 12 年  
第六回年度大会報告並議案／日本労働組合同議／日本労働組合同議／昭和 12 年  
学制改革 社会大衆党国策叢書第五輯／社会大衆党本部／社会大衆党出版部／昭和 12 年  
社会大衆党 総選挙政策並にスローガン演説要旨／社会大衆党総選挙対策委員会編／社会大衆党本部／昭和 12 年  
ワシントンに於ける世界繊維工業会議報告 木曜俱樂部講演集第四集／鮎沢巖／木曜俱樂部／昭和 12 年  
船員の業務上過失処罰に付いて 船員の苦衷を訴ふ／鈴木倉吉／海員協会／昭和 12 年  
※労働時報 [第 14 巻第 4 号] ／ ／社会局労働部／昭和 12 年 4 月 28 日  
※労働時報 [第 14 巻第 7 号] ／ ／社会局労働部／昭和 12 年 7 月 28 日  
※労働時報 [第 14 巻第 10 号] ／ ／社会局労働部／昭和 12 年 10 月 28 日  
※新評論 [第 2 巻第 6 号] ／ ／新評論社／昭和 12 年 6 月 1 日  
【昭和 13 年】  
社会大衆党第七十三戦時議会報告書／社会大衆党本部／社会大衆党出版部／昭和 13 年  
局長年報一九三八年／国際労働局東京支局／国際労働局東京支局／昭和 13 年  
第七回全国大会議案／社会大衆党本部／社会大衆党出版局／昭和 13 年  
物資統制と中小商工業 (其の一) ／協調会調査部／協調会調査部／昭和 13 年  
物資統制と中小商工業 (其の六) ／協調会調査部／協調会調査部／昭和 13 年  
物資統制と中小商工業 (其の七) ／協調会調査部／協調会調査部／昭和 13 年  
物資統制と中小商工業 (其の八) ／協調会調査部／協調会調査部／昭和 13 年  
国際労働機関と日本／鮎沢巖／国際労働局東京支局／昭和 13 年  
アジアの再認識／ハロルド・バトラー／国際労働局東京支局／昭和 13 年  
労資関係調整に関する海運界の一典型／堀内長栄／日本海員組合／昭和 13 年  
中小商工業者救済並に貿易振興に就て／社会大衆党東京市会産業調査団／社会大衆党東京市会産業調査団／昭和 13 年  
※労働時報 [第 15 巻第 3 号] ／ ／社会局労働部／昭和 13 年 3 月 28 日  
※労働時報 [第 15 巻第 4 号] ／ ／社会局労働部／昭和 13 年 4 月 28 日  
※労働時報 [第 15 巻第 7 号] ／ ／社会局労働部／昭和 13 年 7 月 28 日  
※労働時報 [第 15 巻第 10 号] ／ ／社会局労働部／昭和 13 年 10 月 28 日

※労働時報〔第15巻第12号〕／／社会局労働部／昭和13年12月28日

※時局月報〔第11年巻第12号〕／／サラリーマン社／昭和13年11月5日

【昭和14年】

第八回全国大会議案／社会大衆党本部／社会大衆党出版局／昭和14年

事変下の輸出中小工業（其の三）／協調会調査部／協調会調査部／昭和14年

※内外社会問題調査資料〔合綴，第397～405号〕／／内外社会問題調査所／昭和14年8月25日～11月15日

※世界週刊〔合綴，第2巻第30号～37号，第39号，第40号，第42号，第44号〕／／日本青年外交協会労働雑誌社／昭和14年8月12日～9月30日，10月14日，10月21日，11月3日，11月18日（注）順不同で合綴

【昭和15年】

本邦労働者及農民事情（昭和十四年度）／大原社会問題研究所／栗田書店／昭和15年

賃金制より観たる月給制度 産業報国運動資料（四）／／東京地方産業報告联合会／昭和15年

賃金制より観たる月給制度一附 月給制に答へて一 産業報国運動資料（四）／／東京地方産業報告联合会／昭和15年（注）増補版

我国労資調整機構の発達／西実／酒井書店／昭和15年（注）2冊あり

産業報国運動手引 産業報国読本（第一輯）／鈴木肇／愛宕産業報国联合会／昭和15年

※大原社会問題研究所資料通報2／／大原社会問題研究所／昭和15年7月30日（注）表紙のみ

※大原社会問題研究所資料通報4／／大原社会問題研究所／昭和15年11月18日

【昭和16年】

最近の中小商工業問題に関する報告（第一輯）「調査資料」No.1／大日本産業報告会調査室／大日本産業報告会調査室／昭和16年（注）謄写版

※大原社会問題研究所資料通報7／／大原社会問題研究所／昭和16年11月30日

【昭和17年】

※大原社会問題研究所資料通報8／／大原社会問題研究所／昭和17年6月28日

【不詳】

女子ノ入坑禁止並深夜業禁止問題ニ関スル資料／／／（注）謄写版，昭和8年12月以後作成  
勤労の真義／／／（注）講演案，菊川か，昭和18年以後，在満在関東州日本人対象，勤労報国について，タイプカーボン，書き込みあり

日本労働組合同盟関東合同労働組合同規約／／／（注）謄写版

日本労働組合主義綱要／大場勇／／（注）謄写版

血盟団事件予審終結決定書／／／（注）謄写版，途中切

全労の細則〔ペン書き込みの表題〕／／／（注）謄写版，財政部細則など

同盟会館建設に関する件／東京地方連合会提出／／（注）謄写版

以下袋で一括となっていたもの。【】内に袋のタイトルを記す。タイトルは菊川の整理ではない。

【軍事援護関係資料】

傭員及工員兵事取扱内規ノ件／／／昭和18年10月17日（注）〔日本製鉄八幡製鉄所〕総務部長発信，各局部所院長宛，内規付，カーボン及び謄写版，手書，日本製鉄八幡製鉄所箋，7月1日施行  
工員及傭員兵事取扱内規／／／（注）日本製鉄八幡製鉄所の内規，謄写版，タイプか  
傷痍軍人輔導状況／／／昭和18年10月以降（注）謄写版，手書，日本製鉄八幡製鉄所箋，7枚目欠

林茂氏旧蔵図書について (3)

- [日本製鉄広畑製鉄所臨時招集者復職誓約書雛形] / / / (注) 筆写, 日本製鉄広畑製鉄所箋, 書き込み「八幡ニハコノ書式ナシ」
- 八幡製鉄所産業報国会銃後々援部事業一覧表 / / / (注) 活版, 一枚物
- 銃後々援部特別救恤査定標準生計費一覧表 / 八幡製鉄所産業報国会 / 八幡製鉄所産業報国会 / 昭和 19 年 2 月以降 (注) 活版, 一枚物
- 軍事援護と民法上の家族制度—八幡市における実態調査を通じて— / 九州帝国大学教授船橋諄一 / / (注) 謄写版, 和文タイプか, これらの研究方針を述べたもの
- 軍隊俸給表 / / / (注) 謄写版, 和文タイプ
- 工員給料 (工場別, 支給別) 一覧表 深沢分工場 / / / 昭和 19 年 8 月 (注) 手書
- 等級別各種員数調査票 / / / (注) 印刷表に書き込み, どの工場か不明, 「機銃」との印あり
- 日本製鉄株式会社八幡製鉄所 工員就業規則及賃金規則 / / 日本製鉄株式会社八幡製鉄所 / 昭和 18 年 1 月
- 職員準職員服務給与ニ関スル諸規定 / / 日本製鉄株式会社 / 昭和 18 年 11 月 (注) 2 点
- 日本製鉄株式会社事業概要 / / 日本製鉄株式会社 / 昭和 18 年 12 月
- [挟込資料] 1「工員階級別賃金調」 / / 八幡製鉄所 / 昭和 18 年 (注) 18 年度上期, 印刷表に手書
- 2「諸給与調」 / / 八幡製鉄所 / 昭和 18 年 (注) 18 年度上期, 印刷表に手書
- 3 6 月 27 日付山根維一郎書簡, 大河内一男宛 (注) 依頼状発送云々, 軍事援護学会箋
- 労務者雇傭要綱 / / 日魯漁業株式会社労務部 / 昭和 19 年
- 産業報国会事業部門別事業一覧 / / / 昭和 18 年
- 戦時ニ於ケル労務者及ビ職員ノ応召入営及ビ其他ノ被招集者ニ対スル待遇基準案 昭和十七年十二月 / / 日本経済聯盟会 / 昭和 18 年
- 研究集録 (一) 軍事援護学会法律委員会第一次研究報告 / / 軍事援護学会 / 昭和 19 年
- [銃後奉公会諸表ほか] / / / (注) 2 点合綴
- 1 昭和 19 年 10 月 6 日付, 長野県北佐久郡小沼村銃後奉公会長小沼村長甘利貞久書状, 柳川昇宛, 内容: 銃後奉公会の財政状況, 問題なし, なお別紙「十九年度予算十八年度決算書添付」とあるが存在しない
- 2「第一表 銃後奉公会現在数及職員数調 (昭和十九年四月一日現在)」など, 謄写版
- [横須賀海軍工廠給与関係 2 点] / / / (注) 筆写, 海軍箋
- 1 昭和 18 年 12 月 17 日海軍徴用員給与補給規則
- 2 昭和 19 年 2 月 10 日横須賀海軍工廠海軍徴用員給与補給取扱内規
- 【総同盟脱退問題に関する宣伝ビラ一束】
- 声明書 / / 日本農民組合関東出張所 / 大正 15 年 12 月 18 日
- 声明書 / / 日本農民組合中央委員会 / 大正 15 年 12 月 7 日
- 声明書 / / 大島ゴム支部総会 / 大正 15 年 12 月 8 日 (注) 謄写版, クリップで次の二点と綴じてある, 「労働組合を守れ」「関東合同労働組合員諸君に檄す 労働組合を守れ!」, いずれも作成者不明
- 関東合同労働組合員諸君に檄す『労働組合を守れ』 / / [総同盟中央合同労働組合] / 大正 15 年
- 労働 号外 / / 日本労働総同盟本部 / 大正 15 年 12 月 11 日 (注) 2 点あり
- 労働 号外 / / 日本労働総同盟本部 / 大正 15 年 12 月 14 日 (注) 3 点あり
- 工場と鉱山 号外 / / 日本労働組合同盟本部 / 大正 15 年 12 月 22 日
- 日本農民組合同盟規約 (大正十五年三月十, 十一, 十二日第五回全国大会改正) / / / 大正 15 年

日本労農党創立趣意書／／／大正15年11月23日（注）2点、裏に原稿案あり、「社会民衆党の正体と総同盟幹部の根〔ママ〕胆を暴露す」「日本労農党はどうして生まれた。」  
麻生等の政党組織問題の真相発表／大阪連合会／大阪連合会／大正15年11月27日  
日本農民組合員諸君に訴ふ！／日本労働党支持杉山組合長支持分裂反対全国協議会／日本労働党支持杉山組合長支持分裂反対全国協議会／大正15年12月13日（注）2点  
脱退声明書／〔旧総同盟高砂工友会など〕／〔旧総同盟高砂工友会など〕／大正15年12月9日  
【労働学校講義案】（注）すべて謄写版  
第壹回中央政治学校講義概要／／日本労農党／昭和2年（注）11月5～15日開催  
工場法講義要目附表／／／昭和2年（注）第壹回中央政治学校講義  
労働組合論／望月源治／／昭和2年（注）第壹回中央政治学校講義  
経済学概論／田所輝明／／昭和2年（注）第壹回中央政治学校講義  
労働法制／三輪寿壮／／昭和2年（注）第壹回中央政治学校講義  
支那問題序説（昭和三年七月二十八日中央労働学校城東分校用）／／／昭和3年  
日本大衆党昭和三年度原案／／／昭和3年  
弁証法的唯物論 夏期講習会講義案・第一日／角田藤三郎／／昭和4年カ  
労働組合法論 夏期講習会講義案・第二日／三輪寿壮／／昭和4年カ  
国際労働運動の現勢 夏期講習会講義案・第三日／和田暹／／昭和4年カ  
産業合理化と労働者運動 夏期講習会講義案・第五日／角田藤三郎／／昭和4年カ  
唯物史観講義 第一節唯物史観の成立迄（第一日）／／／  
唯物史観の成立要素／菊川忠雄／／  
唯物史観の要項（第二日講義用）／／／  
金解禁問題／／／  
金輸出再禁止と無産階級／／／（注）2点  
労働組合論 全国労農大衆党東京第一支部第五回プロレタリア政治学校／菊川忠雄／／昭和6年7月  
労働組合論 プロレタリア婦人政治学校／菊川忠雄／／（注）前項と同じものに「プロレタリア婦人政治学校」の紙片を貼付して使用  
労働組合論 全国労農大衆党東京第一支部主催第七回プロレタリア政治学校教材／菊川忠雄／／  
夏期講習会〔日程表〕／／／  
労働問題講座 第二節労働組合法案の批判／／／  
無産者政治学／／／  
一般戦略ト戦術／角田藤三郎／／  
運動方針／／／  
資本金団体調査／労働組合政治連絡委員会／／  
全農代議員同志諸君！ 再建全農の大会を祝し東北北海道飢饉救援闘争に協力されし諸君の友愛に対し厚く感謝す／全国労農大衆党東北北海道飢饉救援委員会ほか／全国労農大衆党東北北海道飢饉救援委員会ほか／3月20日  
社会大衆党非常時政策／／社会大衆党／  
〔ファシズムとは何か、等。講義案か〕／／／  
〔講義案断簡〕／／／  
【〔戦時下賃金関係〕】袋には「東北大学資料〔赤マジック〕？〔インク〕」とあるが、内容と一致せず



林茂氏旧蔵図書について (3)

〔クリップ留 1〕 (注) 以下クリップ留 5 まで、タイプカーボン、「大日本帝国」箋

- 1 退職積立金及退職手当法令ノ疑義ニ関スル件／社会局労働部長／／昭和 12 年 8 月 10 日
- 2 応召人の取り扱い及び待遇／経済聯盟案／／昭和 17 年 11 月 13 日
- 3 陸軍防衛召集規則／／／昭和 17 年 9 月 26 日
- 4 陸軍召集規則中改正／／／昭和 17 年 9 月 26 日

〔クリップ留 2〕

- 1 川崎重工業艦船工場早出歩増増額一件／／／昭和 17 年

〔クリップ留 3〕

- 1 鉄鋼関係工場・鉄鋼輸送賃金措置一件／／／昭和 18 年

〔クリップ留 4〕

- 1 少年被徴用者ニ関スル給与増額ノ請願／／／昭和 19 年 1 月 25 日

〔クリップ留 5〕

- 1 五大重点産業の賃金整理統制令に弾力性／／／

〔バラ史料〕 (注) 1～5 謄写版, 6～8 タイプ版

- 1 国民勤労働員令ニ基ク勤労協力又ハ機動配置セラレタル者ノ給与〔草稿〕／／／
- 2 戦時災害時ニ於ケル給与等取扱ノ細部実施要領 (案)／陸軍省監理課／／昭和 20 年 1 月 7 日
- 3 年齢階級別補給限度新旧対照表／／／
- 4 特別勤労隊給与規定 (案)／／／ (注) 3 点
- 5 賃金形態ニ関スル指導方針／／／
- 6 外地部隊応召勤労者ノ給与ニ関スル基準案／重要安業協議会労務委員会／／昭和 20 年 12 月 15 日
- 7 徴用慰労金支給方徹底方策案／／／
- 8 離職者給付金推算額／／／

〔以下、糸綴〕

- 1 移入朝鮮人労務者就労期間延長ニ伴フ指導措置要領ニ関スル件／厚生省健民局長・厚生省勤労局長・内務省警保局長・軍需省管理局長／／昭和 20 年 6 月 9 日 (注) 謄写版
- 2 昭和二十年度中ニ於テ期間満了トナル移入朝鮮人労務者期間延長ニ関スル件／厚生省勤労局長・軍需省管理局長／／昭和 20 年 6 月 7 日 (注) 謄写版
- 3 昭和二十年度中ニ於テ期間満了トナル移入朝鮮人労務者期間延長ニ関スル件／厚生次官・内務次官・軍需次官／／昭和 20 年 6 月 3 日 (注) 謄写版
- 4 期間満了移入朝鮮人労務者指導要領／／／ (注) 謄写版
- 5 期間満了移入朝鮮人労務者指導要領／／／ (注) 謄写版, 書き込み「(五. 二八次官会議決定)」, 前項文書と若干異なる
- 6 期間満了移入朝鮮人労務者指導要領 (案)／／／ (注) 謄写版, 書き込み「二〇. 五. 二二於総計 五. 二四八次官会議ニ提出ノ予定」
- 7 労務者内地就労期間延長ニ関スル善後措置／／／ (注) 謄写版, 朝鮮総督府案 昭和 20 年 5 月 22 日
- 8 期間満了移入朝鮮人労務者ノ指導ニ関スル実施手続／／／ (注) 謄写版, 書き込み「二〇. 五. 二. 仰付事務官会議」
- 9 集団移入半島人労務者家族送金ノ確保ニ関スル件 (関係統制会及軍需省ト協議済)／／／ (注) タイプ版
- 10 集団移入半島人労務者家族送金ノ確保ニ関スル件／／／ (注) 謄写版, 書き込み「二〇. 五. 二一」

- 11 集団移入半島人労務者家族送金ノ確保ニ関スル件／／／（注）タイプ版、書き込み「二〇.五.一八」
  - 12 内地移入半島人労務者家族送金確保対策／／／昭和 20 年 5 月 16 日（注）タイプ版
  - 13 朝鮮人労務者ノ家族送金額統一ニ関スル件／石炭統制会九州支部勤労部長小山田昌勝、厚生省勤務局  
給与課松崎事務官宛／／昭和 20 年 2 月 9 日（注）タイプ版
  - 14 内地送出半島勤労者ノ家族送金ニ関スル件／朝鮮総督府勤労部指導課長、厚生省勤務局指導部給与課  
長宛／／昭和 20 年 2 月 10 日（注）ペン書
  - 15 書簡／厚生省勤務局指導部給与課長、朝鮮総督府鉱工局勤労部指導課長宛／／昭和 20 年 1 月 31  
日（注）タイプ版
  - 16 移入半島労務者ノ家族送金ニ関スル件（案）／厚生省勤労局長、軍需省総動員局長／／年月日未記  
入（注）タイプ版
  - 17 復命書／厚生事務官松崎芳 勤労局長宛／／昭和 20 年 1 月 8 日（注）謄写版
- 〔クリップ留 7〕
- 1 The Wage Control Ordinance (Imperial Ordinance No.675 promulgated 10, October, 1940（注）タ  
イプ版
- 【菊川氏自筆原稿】
- チューターの任務に関する細則／帝大セツルメント柳島労働学校／帝大セツルメント柳島労働学  
校／（注）謄写版
- 個人思想から共産思想へ／／／（注）ペン書き
- 進化論講目／／／（注）謄写版
- 〔大正 10 年頃の新人会の回想メモ〕／／／（注）ペン書き、東京政治経済研究所箋
- 教育部（本科）内規／／／大正 13 年 12 月 6 日カ（注）謄写版、セツルメント関係
- 智識階級の煩悶とその動向／／／（注）ペン書き、新人社編輯用箋、項目列举のみ
- 個人意識から社会意識へ／／／（注）ペン書き、新人社編輯用箋、項目列举のみ
- 文学に於ける社会性の問題／／／（注）ペン書き、労働箋
- イデオロギーの位置について／ベー・ゴーレフ 蔵原惟人訳／／大正 14 年（注）ペン書き
- 【日本鉱夫組合関係 八点】
- 鉱山労働者附録 鉱山リーフレット 不安な鉱夫の生活と労働組合／／日本鉱夫組合本部／大正 14 年  
10 月 1 日（注）4 点あり
- 日本鉱夫組合に即時加入せよ！〔ビラ〕／／日本鉱夫組合本部／（注）7 点あり
- 日本労働総同盟 日本鉱夫組合案内／／日本鉱夫組合本部／（注）5 点あり
- 入会申込書／／／（注）8 点あり、未使用
- 新入会報告／／／（注）5 点あり、未使用
- 〔組合員証〕／／／（注）5 点あり、未使用、大正期
- 組合員之証／／／（注）未使用、昭和期
- 【〔菊川自筆資料か〕】
- 宣言〔全国労働と日本労働総同盟の合同宣言〕／／／昭和 11 年（注）ペン書、菊川自筆か、全国労  
働組合同盟第六回大会
- 【日本労働総同盟大阪金属労働組合同規約】
- 日本労働総同盟大阪金属労働組合同規約／／／（注）2 点あり
- 【東京北部労働組合 案内 組合員之証 規約】
- 日本労働組合同盟東京北部労働組合同案内／／／（注）2 点あり

林茂氏旧蔵図書について (3)

日本労働組合同盟東京北部労働組合組合員之証／／／（注）2点あり

日本労働組合同盟東京北部労働組合規約／／／（注）2点あり

【日本紡織労働組合 ビラ 案内書 規約 会員証 申込書】

ビラ 富士紡小名川工場の閉鎖を見て皆さん考へやうぜ！！／日本労働組合同盟日本紡織労働組合本部／

日本 労働組合同盟日本紡織労働組合本部／（注）2点あり

日本紡織労働組合案内／／／（注）9点あり

日本紡織労働組合規約／／／（注）2点あり

会員之証 日本労働組合同盟日本紡織労働組合／／／（注）2点あり

加入申込書／／／（注）4点あり

【政党組合資料 註一、総同盟第一次分裂関係論文その他】

労働総同盟の真相と批判／／／（注）雑誌切抜き、執筆者松岡駒吉・河野密・山本懸蔵・山川均、掲載紙不明

末弘巖太郎／賀川豊彦／／（注）雑誌切抜き、掲載紙不明、大正13年10月号との書き込みあり

無産政党の研究／／／（注）雑誌切抜き、執筆者杉森孝次郎・堺利彦・安部磯雄・赤松克麿・山川均・島中雄三・青野季吉・堀江帰一・長谷川如是閑、『改造』大正14年6月号との書き込みあり

我無産階級運動戦列概観／／／（注）雑誌切抜き、執筆者鈴木文治・島中雄三・若木八重・川村保太郎・高山久蔵・延島英一・野坂竜一・宮井昌吉・布施辰治・林房雄・米窪満亮、『改造』大正14年1月号との書き込みあり

東京立峰セルロイド工場の労働争議（日本労働年鑑大正九年版）／／／（注）筆写資料

【関東合同労働組合】

労働組合に入れ！〔ビラ〕／／／

日本労働総同盟関東労働同盟会規約・日本労働総同盟関東労働同盟会規約〔昭和3年8月改正〕／／日本労働総同盟関東労働同盟会／（注）活版、クリップ留

入会申込書／／／

組合員之証／／／

【日本労働党本部日誌用紙類（未使用）】

【菊川46より】

〔自筆メモ〕／／／（注）内容：大正期学生運動に関するメモ、ペン書き

【菊川47より】

小作争議法廷戦／／細野三千雄講述／（注）謄写版

日本青年団発達年表／／／（注）謄写版

新人会の班及部の運用に関する意見並提案／／／（注）謄写版

班・幹事会・部ノ細則／／／（注）謄写版

学生運動〔関東学生自治擁護同盟協議会の記事他〕／／／（注）謄写版

学生運動〔学生自治協議会に送った夜間学生聯盟のメッセージの記事他〕／／／（注）謄写版

日本大衆党労働組合政治連絡委員会規約／／／（注）謄写版

第四回組合員総会報告並ニ試案〔赤門学生消費組合カ〕／／／昭和6年カ（注）謄写版

討論原稿（学生運動の理論）／／／（注）謄写版

【〔第十八回労働総会関係〕】（注）袋による分類ではないが、一括して二つ折りになっていたのでもとめて整理する。

〔派遣の際の支出費用計算メモ〕／／／

失業保険及各種失業者扶助ニ関スル質問書／／労働部労務課／昭和8年10月（注）謄写版

失業応急事業／／／（注）謄写版

Compte Rendu Provisoire Provisional Record／／／（注）昭和9年8月27日付菊川忠雄宛社会局労働部長赤松小寅の「第十八回労働総会仮議事目録送付ノ件」との送状が付されている

【文書綴】（注）綴りとなっていたもの

日本労農党関係書類綴 菊川用／／／（注）菊川自筆の整理、以下の謄写版の諸史料を綴っている

京浜府県選挙対策一般 京浜府県選挙資料第一輯／／／昭和3年6月

選挙法規に就いて 京浜府県選挙資料第二輯／／／昭和3年6月

選挙運動の組織 京浜府県選挙資料第三輯／／／昭和3年

特別議会を中心とする既成政党への攻撃 京浜府県選挙資料第四輯／／／昭和3年

府県会の民衆化 京浜府県選挙資料第五輯／／／昭和3年6月

地租営業収益税移譲 義務教育費負担 大蔵省預金部に就いて 京浜府県選挙資料第六輯／／／昭和3年

昭和三年度の東京府予算と我党の態度 京浜府県選挙資料第七輯／／／昭和3年

選挙運動事務要覧 第二輯／／／昭和2年9月

党及び組合の『第三者運動』なる『選挙革新団』運動要綱／／／昭和2年9月

演説会要綱／／／昭和2年9月

選挙法質疑応答／／／昭和2年8月

選挙法釈義／／／昭和2年9月

〔挟込資料〕 福島県議会議員候補者広瀬貞のビラ／／／昭和2年9月（注）2点

声明書／日本農民組合関東出張所／／大正15年12月18日

日本労農党宣言綱領政策／三輪寿壮／日本労農党本部／大正15（注）活版

既成政党政撃資料 『府県会選挙運動要覧』補遺／／／大正15年9月

選挙運動事務要覧 第一輯／／／昭和2年9月

府県会選挙運動要覧／／／昭和2年8月

日本労農党東京府支部联合会規約／／／

指令 第5号／全日本農民組合本部／／

声明書 日本労農党拡大中央委員会／／／昭和2年（注）綴じ込みミスにより閲覧不能

日本労農党の活動概況 自創立至昭和二年四月／／／（注）綴じ込みミスにより閲覧不能

健康保険法改正意見／／／

川崎融資案反対／日本労農党中央執行委員会／／昭和2年6月

指令 賃金値下反対運動に関して／東京地方联合会東京統制委員会／／6月

日本労働組合同盟 関東合同労働組合 第三回大会提出議案／／／

支部＝党員数＝事務所所在地／／／（注）「日本労農党本部 2. 7. 9.」の印あり

健康保険法改正運動開始ノ件／高山久蔵／／

産報中央機関関係文書／／／昭和15年頃（注）菊川自筆の整理 謄写版の諸資料を綴っている 昭和15年11月産業報国会結成時の諸資料

第十八回国際労働総会専用箋 一九三四年二月二十四日起／／／昭和9年（注）菊川自筆の整理 出発までの連絡書簡のカーボン写綴

アジア労働会議資料綴／／／昭和9年（注）昭和12年 タイトルは表紙に鉛筆

林茂氏旧蔵図書について (3)

〔スクラップブック〕／／／大正12年 (注) 菊川の目次あり「社研弾圧教授罷免問題」「北大盟休事件」  
「学聯事件公判」

〔スクラップブック〕「退職金積立法案」／／／昭和10年 (注) タイトルは背に鉛筆

※全国労働新聞 第1～3, 号外, 4～17, 号外, 18～29号／／全国労働組合同盟, 全国労働新聞社／昭和5年6月20日～昭和6年10月10日 (注) 製本済

※全国労働新聞 第30～48, 50～55, 号外, 56～71号／／全国労働新聞社／昭和6年11月1日～昭和7年11月20日, 8年1月20日～9年12月5日 (注) 製本済

※全国労働新聞 第1～3, 号外, 4～10, 12～17, 号外, 18～48, 50～56, 58, 71号／／全国労働組合同盟, 全国労働新聞社／昭和5年6月20日～昭和9年12月5日 (注) 未製本, 便宜上ここに掲げる

※労働時報 第3巻第10号, 第4巻第4号, 第12号, 第5巻第3号～第6号, 第8号, 第9号, 第11号, 第6巻1号, 第3号, 第4号, 第10号(部分)／／社会局労働部／大正15年10月28日, 昭和2年4月28日, 12月28日, 3年3月28日～6月28日, 8月28日, 9月28日, 11月28日, 4年1月28日, 3月28日, 4月28日, 10月28日号の部分あり (注) 製本済

【付】

菊川忠雄, 三輪寿壮両氏蔵書目録／／／ (注) 謄写版